

浜の活力再生プラン (第2期)

1 地域水産業再生委員会 (ID: 1130005)

組織名	香川県地域水産業再生委員会 高松地区部会
代表者名	部会長 高野 勇

再生委員会の 構成員	屋島漁業協同組合、高松市東部漁業協同組合、高松市瀬戸内漁業協同組合、東瀬戸漁業協同組合、香西漁業協同組合、下笠居漁業協同組合、直島漁業協同組合 高松市、直島町 香川県、香川県漁業協同組合連合会
オブザーバー	

対象となる地域の 範囲及び漁業の種類	<p>[範囲] 香川県高松地域（高松市（庵治町、牟礼町を除く）、直島町）</p> <p>[漁業の種類] 魚類養殖業（10経営体）、ノリ養殖業（26経営体）、かき養殖業（1経営体）、小型機船底びき網漁業（113経営体）、さわら流しさし網漁業（18経営体）、敷網漁業（36経営体）、建網漁業（51経営体） 計255経営体</p>
-----------------------	--

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

当地域は、香川県の中央部に位置し、女木島、男木島、直島諸島などの島々を擁して、複雑な海底地形、潮流により好漁場を形成している。

漁業種類については、ブリ類を中心とした魚類養殖業及びノリ養殖業が漁業生産の中心となっているほか、小型機船底びき網、敷網、さわら流しさし網、建網漁業などの漁業が営まれている。

[養殖業]

本県において日本で初めて成功したハマチ養殖が、基幹産業となっており、当地域でも漁場改善及び品質管理を徹底した「なおしまハマチ」というブランド魚の生産に取り組んでいる。

しかし、養殖業においても、魚価の低迷、人材不足などの要因により、養殖業経営を行うのは厳しい状況にあり、経営体数も減少している。

また、ノリ養殖業については、かつては香川県全体の生産額が111億円に達したこともあり、本県は国内でも有数なノリ生産地であったが、生産過剰により価格が急落し、経営体数は急激に減少した。それに加え、近年の海水温の上昇による漁期の短縮化、冬季の栄養塩レベルの低下、漁業コストの向上により、ノリ養殖業の経営は非常に厳しい状況となっている。

[漁船漁業]

域内に位置する高松漁港には、県内で最も多い登録漁船数があり、漁獲された水産物は、同じく域内に位置する中央卸売市場に直接出荷されることが多い。中央卸売市場は、県庁所

在地である高松市の人口集積地に近接しており、魚の流通には好立地となっている。

しかしながら、近年の漁業コストの上昇、魚価の低迷により漁業で生計を立てるのは難しい状況であり、漁業経営体数は減少の一途をたどっている。

また、大半の漁業者は資源管理には取り組んでいるものの、漁業共済制度などの漁業収入安定対策事業を活用している者が少なく、漁業収入は不安定な状況にある。

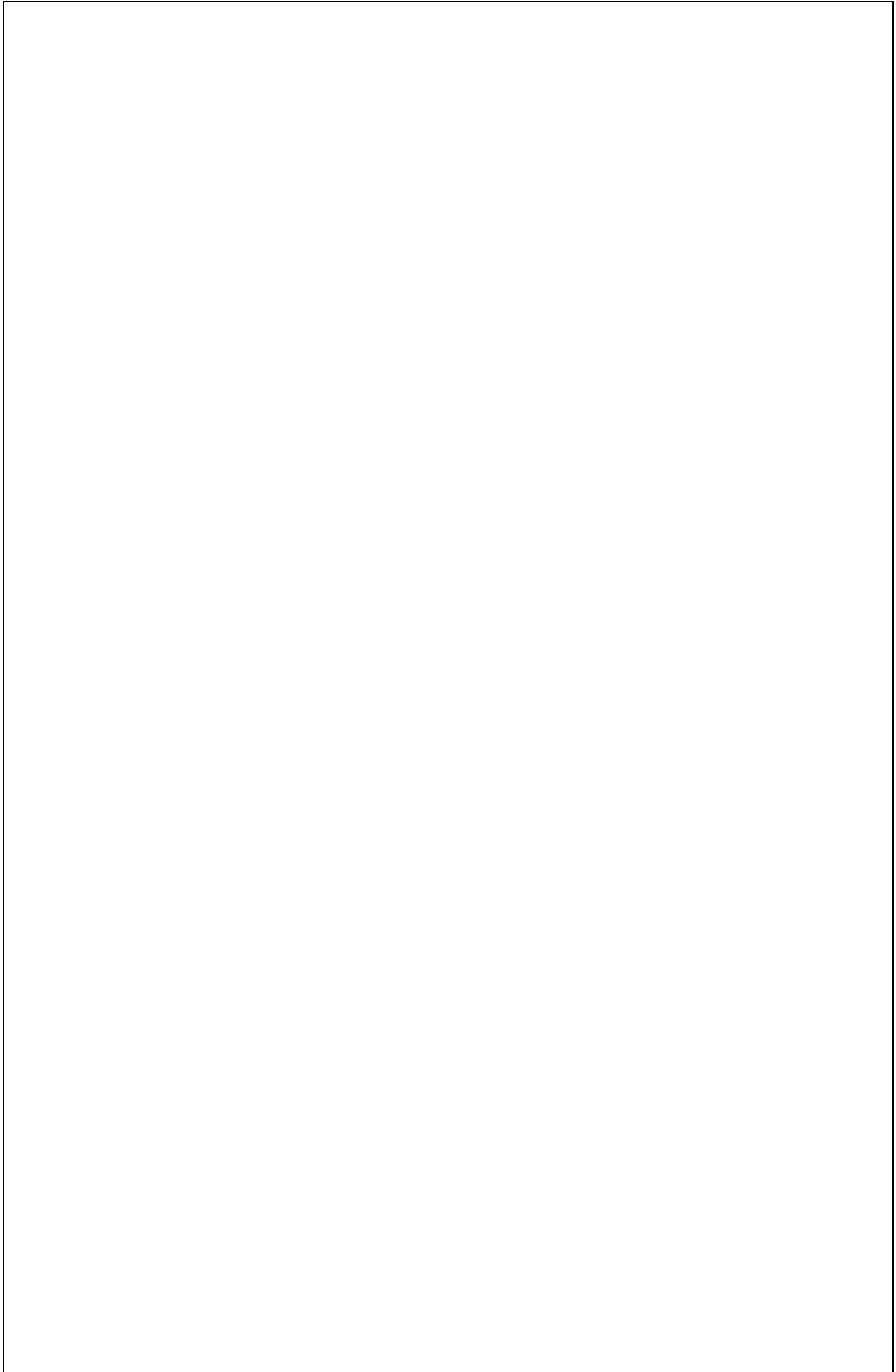
(2) その他の関連する現状等

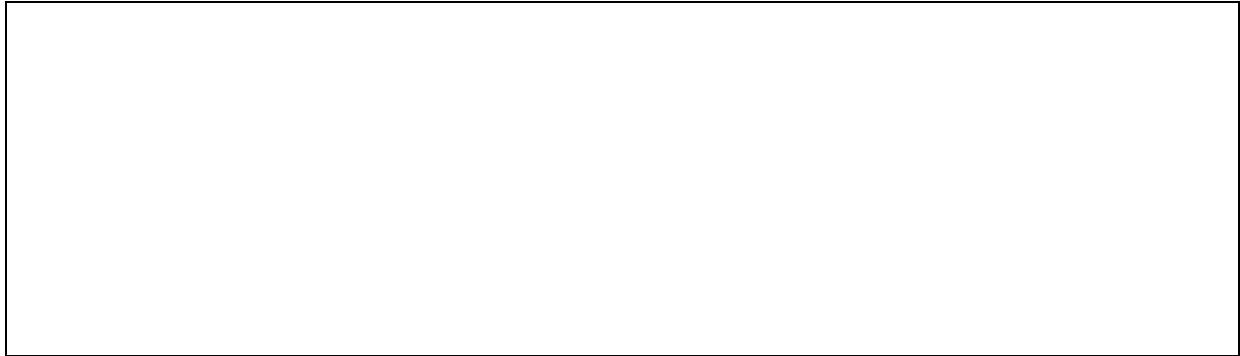
- ・高松・直島を訪問する観光客に新鮮な魚料理を提供する飲食店が少ない。
- ・香川の伝統的な鮮魚の行商人である『いただきさん』が高松市で魚を売りながら、調理方法や食べ方のアドバイス、旬の魚情報等を教えてくれており、水産物の消費拡大や食育の一翼を担っているが、大型スーパーの増加、後継者の不足により、その数が急速に減少している。
- ・高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接している。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--





(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

○漁業収入の向上

第1期で取組効果があり、継続・拡大する取組

- ・魚類養殖の振興
- ・ノリ養殖の振興
- ・収入の安定化

第1期の取組内容を変更し、継続する取組

- ・漁村のにぎわい創出
- ・地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進

新規の取組

- ・浜の多面的機能発揮
- ・漁港機能強化等の施設整備

○漁業コスト削減

第1期で取組効果があり、継続する取組

- ・省燃油対策の継続

第1期の取組内容を変更し、継続する取組

- ・ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

香川県資源管理指針に沿って各漁業協同組合が定めた資源管理計画に基づき、漁獲努力量の削減に努めており、その履行については香川県資源管理協議会が確認を行っている。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成31年度）

取組の内容は、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

漁業収入向上のための取組

漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より0.4%増加）

○魚類養殖の振興

- ・魚類養殖経営体は、直島漁協の「なおしまハマチ」について、給餌方法等を統一するなど徹底した生産管理により、一層の品質向上に努め、併せて、漁場負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。
- ・特に関東圏においては、「ハマチ」という呼称より「鰺」の知名度が高く、高値で取引されるため、魚類養殖業者は、4Kg以上の重量まで生育され

	<p>高品質な「なおしま鰯」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。</p> <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、より高品質な製品を消費者に提供するため、加工段階における高精度な機器を整備するとともに、現場の作業効率を高める。 また、漁期中の栄養塩レベルの悪化により、品質低下、生産量減少の対策として、海底耕うん等の漁場管理や時間当たりの摘み取り量を増大させることにより、栄養塩レベルの影響を受けにくい生産体制を構築し、収益向上を目指す。 ・ノリ養殖経営体は、ノリ製品に生産者の顔写真を貼るなど、安全で高品質なノリであることを PR し、販売量増加、価格向上を目指す。また、ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、比較的設備投資が少なく新規での操業が容易なアオノリ養殖について、県内の生産拡大のため、アオノリ養殖適地選定の試験の実施を検討する。 ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 <p>○漁村のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年に開催された瀬戸内国際芸術祭を契機に、直島は現代アートの聖地として国内外から多くの観光客が訪れ、同時期に和食がユネスコ世界無形文化遺産に登録されたこともあり、多くの来場者は、芸術作品だけではなく、瀬戸内の新鮮な水産物を含む『食』への期待は高い。 そういった中、新たに古民家を利用した飲食施設や民泊施設はある程度できたものの、島内における県産水産物の提供体制は脆弱であり、PRの機会を活かしきれていないのが実情である。 そこで、2019年開催される「瀬戸内国際芸術祭」では、食材提供やメニュー開発等により、情報発信力の高いメディア関係者の協力を得ながら、県内水産物の PR を促進する。 <p>○地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。 ・地区内の全漁業者は、香川の伝統的な鮮魚の行商人であり、高松地区を中心に商売をしている『いただきさん』に対し、水産物、情報等の提供、施設の利用許可などの支援を行い、地元での消費拡大を図る。 ・地区内の全漁業者は、街角で懐古的な風情を醸し出す『いただきさん』を貴重な観光資源として捉え、『いただきさん』を絡めたイベント等を推進していくため、『いただきさん』の活動をまとめる団体又は協議会の設立を県、関係団体などと連携し、検討する。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物
--	---

	<p>の処理等を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ふらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 0.4%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・地区内の漁業者は、競争力の高い機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ加工段階での品質向上及び異物除去能力の高い機器を整備し、相対的な漁業コストの削減に努める。 ・地区内のノリ養殖経営体は、高額設備の初期投資費や運用管理費といった漁業コストの削減のため、協業化や設備の共同利用を検討する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・もうかる漁業創設支援事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

2年目（平成32年度）

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 0.8%増加)</p> <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、直島漁協の「なおしまハマチ」について、給餌方法等を統一するなど徹底した生産管理により、一層の品質向上に努め、併せて、漁場負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。 ・特に関東圏においては、「ハマチ」という呼称より「鰺」の知名度が高く、高値で取引されるため、魚類養殖業者は、4Kg以上の重量まで生育され
--------------	--

	<p>高品質な「なおしま鰯」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。</p> <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、より高品質な製品を消費者に提供するため、加工段階における高精度な機器を整備するとともに、現場の作業効率を高める。 また、漁期中の栄養塩レベルの悪化により、品質低下、生産量減少の対策として、海底耕うん等の漁場管理や時間当たりの摘み取り量を増大させることにより、栄養塩レベルの影響を受けにくい生産体制を構築し、収益向上を目指す。 ・ノリ養殖経営体は、ノリ製品に生産者の顔写真を貼るなど、安全で高品質なノリであることを PR し、販売量増加、価格向上を目指す。また、ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、比較的設備投資が少なく新規での操業が容易なアオノリ養殖について、県内の生産拡大のため、アオノリ養殖適地選定の試験を実施する。 ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 <p>○漁村のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、現代アート聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島において、食材提供やメニュー開発等により、県内水産物の PR を促進する。また、2010 年から開始した「瀬戸内国際芸術祭」が 10 周年を迎えることから、情報発信力の高いメディア関係者の協力を得て、国内外へ情報発信し、漁村のにぎわいを創出する。 <p>○地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。 ・地区内の全漁業者は、香川の伝統的な鮮魚の行商人であり、高松地区を中心に商売をしている『いただきさん』に対し、水産物、情報等の提供、施設の利用許可などの支援を行い、地元での消費拡大を図る。 ・地区内の全漁業者は、街角で懐古的な風情を醸し出す『いただきさん』を貴重な観光資源として捉え、『いただきさん』を絡めたイベント等を推進していくため、『いただきさん』の活動をまとめる団体又は協議会の設立を県、関係団体などと連携し、検討する。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 <p>○収入の安定化</p>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 0.8%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コスト化に取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ加工段階での品質向上及び異物除去能力の高い機器を整備し、相対的な漁業コストの削減に努める。 ・地区内のノリ養殖経営体は、高額設備の初期投資費や運用管理費といった漁業コストの削減のため、協業化や設備の共同利用を検討する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・もうかる漁業創設支援事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

3年目（平成33年度）

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.2%増加)</p> <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、直島漁協の「なおしまハマチ」について、給餌方法等を統一するなど徹底した生産管理により、一層の品質向上に努め、併せて、漁場負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。 ・特に関東圏においては、「ハマチ」という呼称より「鰺」の知名度が高く、高値で取引されるため、魚類養殖業者は、4Kg以上の重量まで生育され高品質な「なおしま鰺」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。 <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、より高品質な製品を消費者に提供するため、加工段階における高精度な機器を整備するとともに、現場の作業効率を高める。また、漁期中の栄養塩レベルの悪化により、品質低下、生産量減少の
--------------	---

	<p>対策として、海底耕うん等の漁場管理や時間当たりの摘み取り量を増大させることにより、栄養塩レベルの影響を受けにくい生産体制を構築し、収益向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、ノリ製品に生産者の顔写真を貼るなど、安全で高品質なノリであることをPRし、販売量増加、価格向上を目指す。また、ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、比較的設備投資が少なく新規での操業が容易なアオノリ養殖について、県内の生産拡大のため、アオノリ養殖適地選定の試験を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。 <p>○漁村のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、現代アート聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島において、漁村地域にも観光客を呼び込むことにより、新鮮な地元水産物を使用した飲食物を提供する。また、SNS等を活用しながら、瀬戸内海の魅力を継続的に国内外へ情報発信することにより、漁村のにぎわいを創出する。 <p>○地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。 ・地区内の全漁業者は、香川の伝統的な鮮魚の行商人であり、高松地区を中心に商売をしている『いただきさん』に対し、水産物、情報等の提供、施設の利用許可などの支援を行い、地元での消費拡大を図る。 ・地区内の全漁業者は、県、関係団体などと連携し、街角で懐古的な風情を醸し出す『いただきさん』を貴重な観光資源として捉え、『いただきさん』を絡めたイベント等を推進していくため、『いただきさん』の活動をまとめる団体又は協議会を設立する。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.2%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・ 競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コスト化に取り組む。 ・ 漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノリ加工段階での品質向上及び異物除去能力の高い機器を整備し、相対的な漁業コストの削減に努める。 ・ 地区内のノリ養殖経営体は、高額設備の初期投資費や運用管理費といった漁業コストの削減のため、協業化や設備の共同利用に向けたマッチング活動を実施する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業人材育成総合支援事業 [国] ・ 漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・ 水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・ 浜の活力再生交付金 [国] ・ 魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]

4 年目 (平成 3 4 年度)

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.6%増加)</p> <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魚類養殖経営体は、直島漁協の「なおしまハマチ」について、給餌方法等を統一するなど徹底した生産管理により、一層の品質向上に努め、併せて、漁場負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。 ・ 特に関東圏においては、「ハマチ」という呼称より「鰯」の知名度が高く、高値で取引されるため、魚類養殖業者は、4Kg 以上の重量まで生育され高品質な「なおしま鰯」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。 <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノリ養殖経営体は、より高品質な製品を消費者に提供するため、加工段階における高精度な機器を整備するとともに、現場の作業効率を高める。 <p>また、漁期中の栄養塩レベルの悪化により、品質低下、生産量減少の対策として、海底耕うん等の漁場管理や時間当たりの摘み取り量を増大させることにより、栄養塩レベルの影響を受けにくい生産体制を構築し、</p>
--------------	--

	<p>収益向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、ノリ製品に生産者の顔写真を貼るなど、安全で高品質なノリであることをPRし、販売量増加、価格向上を目指す。また、ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、アオノリ適地選定試験結果に基づき、アオノリの養殖を開始する。また東讃地区が共有するアオノリ種苗生産技術を参考に、当地区でのアオノリ種苗生産の実施を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。 <p>○漁村のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、現代アート聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島において、漁村地域にも観光客を呼び込むことにより、新鮮な地元水産物を使用した飲食物を提供する。また、SNS等を活用しながら、瀬戸内海の魅力を継続的に国内外へ情報発信することにより、漁村のにぎわいを創出する。 <p>○地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。 ・地区内の全漁業者は、香川の伝統的な鮮魚の行商人であり、高松地区を中心に商売をしている『いただきさん』に対し、水産物、情報等の提供、施設の利用許可などの支援を行い、地元での消費拡大を図る。 ・地区内の全漁業者は、設立した協議会を活用し、県、観光協会などと連携して、『いただきさん』スタンプラリー等のイベントを実施することにより、伝統的な行商人である『いただきさん』と地元水産物に興味を持ってもらう機会を増やす。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
--	---

漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.6%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・ 競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コスト化に取り組む。 ・ 漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノリ加工段階での品質向上及び異物除去能力の高い機器を整備し、相対的な漁業コストの削減に努める。 ・ 地区内のノリ養殖経営体は、高額設備の初期投資費や運用管理費といった漁業コストの削減のため、協業化や設備の共同利用に向けたマッチング活動を実施する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業人材育成総合支援事業 [国] ・ 漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・ 水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・ 浜の活力再生交付金 [国] ・ 魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]

5年目（平成35年度）

取組の最終年であり、以下の取組を引き続き行うが、目標達成を確実なものとするよう、プランの取組の成果を検証し必要な見直しを行う。

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 2.0%増加)</p> <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魚類養殖経営体は、直島漁協の「なおしまハマチ」について、給餌方法等を統一するなど徹底した生産管理により、一層の品質向上に努め、併せて、漁場負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。 ・ 特に関東圏においては、「ハマチ」という呼称より「鰺」の知名度が高く、高値で取引されるため、魚類養殖業者は、4Kg以上の重量まで生育され高品質な「なおしま鰺」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。 <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノリ養殖経営体は、より高品質な製品を消費者に提供するため、加工段階における高精度な機器を整備するとともに、現場の作業効率を高める。 <p>また、漁期中の栄養塩レベルの悪化により、品質低下、生産量減少の対策として、海底耕うん等の漁場管理や時間当たりの摘み取り量を増大させることにより、栄養塩レベルの影響を受けにくい生産体制を構築し、</p>
---------------------	---

	<p>収益向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、ノリ製品に生産者の顔写真を貼るなど、安全で高品質なノリであることをPRし、販売量増加、価格向上を目指す。また、ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。 ・ノリ養殖経営体は、コンビニエンスストアのおにぎり商材等における香川県産ノリの使用について、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は、事業化したアオノリ養殖の生産拡大と単価向上に取り組む。また東讃地区が提供するアオノリ種苗生産技術を参考に、当地区でのアオノリ種苗生産を実施する。 ・香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。 <p>○漁村のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、現代アート聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島において、漁村地域にも観光客を呼び込むことにより、新鮮な地元水産物を使用した飲食物を提供する。また、SNS等を活用しながら、瀬戸内海の魅力を継続的に国内外へ情報発信することにより、漁村のにぎわいを創出する。 <p>○地域特性を活かした販路の拡大及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。 ・地区内の全漁業者は、香川の伝統的な鮮魚の行商人であり、高松地区を中心に商売をしている『いただきさん』に対し、水産物、情報等の提供、施設の利用許可などの支援を行い、地元での消費拡大を図る。 ・地区内の全漁業者は、設立した協議会を活用し、県、観光協会などと連携して、『いただきさん』スタンプラリー等のイベントを実施することにより、伝統的な行商人である『いただきさん』と地元水産物に興味を持ってもらう機会を増やす。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業
--	---

	効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 2.0%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を継続的に削減する。 ・ 競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コスト化に取り組む。 ・ 漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○ノリ養殖施設整備による作業の効率化及び協業化と設備の共同利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノリ加工段階での品質向上及び異物除去能力の高い機器を整備し、相対的な漁業コストの削減に努める。 ・ 地区内のノリ養殖経営体は、協業化や設備の共同利用に取り組み、高漁業コストの削減に努める。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業人材育成総合支援事業 [国] ・ 漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・ 水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・ 浜の活力再生交付金 [国] ・ 魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]

(5) 関係機関との連携

○香川県水産試験場との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水産試験場が行う資源管理に関する調査の結果を基に、効率的な資源管理に努める。 ・ 当地域での水質等に適した養殖技術について研究を共同で行う。
○他地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・ 他地域の漁協や県漁連とも連携し、運送の共同運行などにより流通コストの削減を目指す。

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	平成 25～29 年の 5 中 3 平均：漁業所得	千円
	目標年	平成 35 年度：漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

1 組合員当たり販売・購買事業 取扱高の 15%以上の向上	基準年	平成 25～29 年度 5 ヶ年平均	千円
	目標年	平成 31～35 年度 5 ヶ年平均	千円

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

- 基準年の算出方法は、地区内漁業協同組合業務報告書（平成 25 年～29 年）で示されている販売事業取扱高と購買事業供給高の合計額を地区内組合員数で除した、過去 5 年間に於ける 1 組合員当たりの販売・購買事業取扱高平均値（ 千円）とした。
- 目標年の設定は、浜の活力再生プランの取組みを実施することにより、下記のとおり、地区内 1 組合員当たりの販売・購買事業取扱高の年間向上率 5%を設定し、プラン期間内平均値を基準より 15%向上させ、弱体化する漁協組織基盤を改善する。

基準年：H25～29 年度地区内 1 組合員当たりの販売・購買事業取扱高平均値（ 千円）
1 組合員当たり販売・購買事業取扱高、向上割合

	取扱高	対基準年向上率 (%)
1 年目 (31 年度)		5.0
2 年目 (32 年度)		10.0
3 年目 (33 年度)		15.0
4 年目 (34 年度)		20.0
5 年目 (35 年度)		25.0
5 ヶ年平均		15.0

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
・漁業人材育成総合支援事業 [国]	意欲のある新規漁業就業者の安定的な確保・定着を図るため、漁業の将来を担う人材を育成支援し、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。
・漁業経営セーフティネット構築事業 [国]	燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・水産多面的機能発揮対策事業 [国]	沿岸域の環境美化、藻場・干潟の保全、海難救助など、浜の持つ多面的機能を発揮する活動を実施することにより、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。
・もうかる漁業創設支援事業 [国]	讃岐さーもん養殖について、より収益性の高い生産体制への転換を推進・実証することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・浜の活力再生交付金（水産関係地方公共団体交付金等実施要領に係るもの） [国]	水産資源の持続的な利用・管理の推進、水産業経営の強化及び漁港機能の強化等を図ることにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・香川県水産振興総合対策事業 [県]	水産物の販売促進、食育活動等に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・魚類養殖生産安定対策事業 [県]	養殖用餌料として従来活用されていない未利用魚を有効活用し、生餌を低価格で安定供給することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。
・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県]	ノリの色落ち・食害対策等による生産安定化や新たな藻類養殖の普及に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。